

CEMSAR

エネルギーマネジメントシステム審査員に主任審査員・審査員・審査員補の計39名を登録 主任審査員の登録者第1号は、東京都の稲葉允さん

「エネルギーマネジメントシステム審査員評価登録センター（CEMSAR）」では、ISO50001（エネルギーマネジメントシステム=EnMS）のエネルギー審査員の評価・登録および研修コースの承認を行っています。

前号では、研修コース承認第1号となった(株)テクノファの「EnMS資格拡大研修コース」を紹介しましたが、今回は主任審査員登録第1号となった稲葉^{まこと}允さんに、EnMS審査員としての抱負などお話を伺いました。都内の第三者認証機関に所属され、長年、ISO9001やISO140001などのマネジメントシステムの認証に携わって

こられた稲葉さんは、CEMSAR承認の研修コースを修了され、かつCEMSARの力量試験にも合格され、めでたく主任審査員に登録されました。

なお、稲葉さんの登録後、審査員評価登録の申請が相次ぎ、CEMSARでは5月2日現在、39名の登録を行っています。内訳は、主任審査員20名、審査員4名、審査員補15名となっています。登録審査員の一覧は、CEMSAR公式サイト（<http://www.eccj.or.jp/cemsar/index.html>）をご参照ください。



マネジメントシステムの自立性を向上させる審査を

東日本大震災以降、日本が直面する最大の課題の一つがエネルギー問題であることが明らかになったのを機に、エネルギーマネジメントに特化した規格の認証を手がけてみようと思いました。それがエネルギーマネジメントシステム（EnMS）の審査員登録を申請した動機です。

昨年6月にEnMSが発行した前後から、自分なりに情報収集を行ったりしていました。この規格に親和性の高いISO140001に関連づけて考えてみましたが、ISO140001は環境側面に適用し、汚染の予防が目的であるのに対して、EnMSはエネルギーの使用に適用し、エネルギーパフォーマンスの改善が目的です。パフォーマンスを目的にすることは、他の規格にはないので戸惑いもありました。

昨秋、「資格拡大研修コース」を受講したのですが、周りには企業でエネルギー管理に携わっている方も多く、グループ演習などでは深い実務知識が問われるという印象がありました。3日間の研修コースはハードではありましたが、私のキャリアにとって貴重な学びとなりました。その後、CEMSARの力量試験を経て主任審査員に登録されたのが昨年12月1日でしたが、まさか自分が光栄にもCEMSAR承認の登録審査員第1号となるとは思いませんでした。

私自身はエネルギーマネジメントシステムの審査をまだ経験していませんが、今後、審査を通してエネルギー効率をはじめとする組織のエネルギーパフォーマンスの改善という目的を果たし、組織としての信頼性の向上につながるよう尽力したいと思っています。これまでマネジメントシステムの認証に携わってきた立場としては、組織が省エネ法や温暖化対策基本法などの法規制に対応するとともに、マネジメントシステムの自立性を高めていけるような審査をめざしていきます。



EnMS主任審査員に登録された
稲葉允さん

▶問合せ：セムサークル事務局

TEL：(03) 5543-3062 FAX：(03) 5543-3887 URL：<http://www.eccj.or.jp/cemsar> E-mail：cemsar@eccj.or.jp